



瑞二だより

教育目標

自立・貢献・生き抜く力

発行者 江戸川区立瑞江第二中学校
校長 横枕 耕史
発行所 東京都江戸川区瑞江4-54-1
発行日 令和8年(2026年)7月17日
第561号



人生の主人公は、自分。未来へ向かってペダルを踏もう！

校長 横枕 耕史

1学期の4か月間、学習や学校行事、部活動、そして毎日の学校生活に真剣に向き合ってきた皆さんの努力に、心から拍手を送ります。新しい学年・新しい学級での生活が始まり、不安や緊張もあったと思います。しかし、一人一人が様々な経験を重ね、確実に成長しました。

本校の教育目標は、「自立・貢献・生き抜く力」です。この三つは、皆さんがこれからの人生を歩いていく上で、必ず土台となる力です。

今日は、その中でも「自立」について話をします。私は皆さんに、ぜひ心に留めてほしい言葉があります。「**自分の人生の舵を取るのは、主人公である自分自身である。**」誰かに決めてもらう人生ではなく、自分で考え、自分で選び、自分で行動し、その結果に責任を持つ人生。その第一歩が「自立」です。

明日から始まる夏休みは、その自立を育てる絶好の機会です。皆さんは、これから45日間、およそ1080時間という大きな時間を手にします。

本校では、今年も夏休みの宿題を多く出しています。それは、「**自分で時間の使い方を考え、自分自身を成長させる力**」を身に付けてほしいからです。自由であるということは、好き勝手に過ごしてよいということではありません。自由には責任が伴います。スマートフォンやゲーム、動画などに時間を奪われ、「気が付いたら一日が終わっていた。」そんな夏休みにはすることは簡単です。しかし、本当にそれでよいのでしょうか。1080時間という大切な財産をどう使うか。その選択が、皆さんの未来を少しずつ、確実に変えていきます。

ここで、皆さんに世界的な物理学者であるアルベルト・アインシュタインの有名な言葉を紹介します。

「人生とは自転車のようなものだ。倒れないようにするには、走り続けなければならない。」

Life is like riding a bicycle.

To keep your balance, you must keep moving.

この言葉にはとても深い意味があると思っています。自転車は、止まってしまうとバランスを崩して倒れてしまいます。しかし、前を向いてペダルを踏み続けていれば、少しずつでも前へ進むことができます。

このことは人生も同じです。

3年生は自分の進路をどうするか考えている人が多いと思いますが、中学生の段階で自分の将来の夢や進みたい道がはっきり見えている人は、まだ少ないと思います。だからこそ、この夏休みには、**自分の「好き」や「面白い」と思えること、「もっと知りたい」と感じることを、ぜひ探究してください。**



得意教科をもっと伸ばす。苦手教科を少しでも克服するために勉強する。本を読む。美術館や博物館へ行く。スポーツに打ち込む。自然の中で新しい発見をする。プログラミングや音楽、料理、地域の活動に挑戦する。大切なのは、誰かに言われたからではなく、**自分の心が動くことに挑戦**

することです。そのチャレンジする一歩が、**自分らしい生き方へ向かうペダル**になります。すぐに答えが見つからなくても構いません。**興味を持ち、挑戦し、失敗し、また挑戦する。その積み重ねが、自分だけの人生の道をつくっていきます。**

この夏休みで、ぜひ大切にしてほしいことは三つあります。

- 時間を大切にすること。
- 目標を持って生活すること。
- スマートフォンなどに時間を支配されるのではなく、**自分自身で時間をコントロールすること。**



「時間がなくなってしまった夏」ではなく、「**自分で時間を使い、自分を一段階成長させた夏**」そんな45日間にしてください。45日間、1080時間。この時間をどう使うかで、皆さんは確実に変わります。

自分の人生の主人公は、自分自身です。前を向き、自分の好きなことや興味のあることを探究しながら、**自分らしい未来に向かってペダルを踏み続けてください。**その積み重ねが、「自立」につながり、「貢献」につながり、どんな時代でも「生き抜く力」につながっていきます。

2学期、一回りも二回りも成長した皆さんに会えることを心から楽しみにしています。

(1学期終業式 校長式辞より)